

北海道地区自然災害資料室（センター）活動報告メモ

(1) 予算の執行

配当額 2,883,000 円 [附属施設経費, 通知書: 1989 年 1 月 23 日付け] を通常活動経費および本センター報告出版等にあてる。

【注】昭和 50 年発足以来の累計額: 41,023,629 円

(2) 一般活動 [地区幹事会・センター運営委員会 (合同)、研究懇談会など]

第 1 回: 昭和 63 年 4 月 5 日

資料センター運営委員会:

- 1) 昭和 62 年度活動一般報告他
- 2) 昭和 64 年度概算要求書の準備・提出

研究懇談会: 『災害資料の在り方』に関する討議

- 1) 秋田谷英次 (北大低温研): 新聞記事による雪害資料の収集・整理
- 2) 酒井良男 (北大名誉教授): 資料センター10 年を振り返って

第 2 回: 昭和 63 年 7 月 19 日

資料センター運営委員会:

- 1) 昭和 63 年度第 1 回災害情報委員会報告他
- 2) 昭和 64 年度概算要求書の提出

研究懇談会テーマ: 『災害資料のあり方』を中心に

- 1) 加賀屋 誠一 (環境科学): 防災計画基礎研究と地域資料—ありたい
DATABASE—
- 2) 太田 裕 (工学部): 災害資料がもつ諸特性—資料センター
との関係を踏まえて—

第 3 回: 昭和 63 年 12 月 2 日

資料センター運営委員会:

- 1) 災害情報委員会 (全国的災害データベースの構築) 等
- 2) [地区内アンケートと災害情報データベースシステム構築] 問題
- 3) センター報告 Vol. 4 の原稿募集

4) 資料センター長の交代問題

研究懇談会テーマ：『突発災害調査』を中心に

- 1) 村上（大橋）ひとみ（工学部）：1988. 8. 21 インド・ネパール国境地震現地調査速報
- 2) 岸 力（工学部）ほか，調査班：1988年8月〔留萌水害〕調査速報

(3) 研究教育活動

- 1) 資料センターに関するアンケート実施（昭和63年12月～）：別紙参照
- 2) 突発災害研究：留萌水害問題（代表者：岸 力）
- 3) 突発災害研究：十勝噴火問題（代表者：勝井義雄）
- 4) 総合講義（教養部，1年後期）：『災害科学の学際的研究』（責任者：太田裕，他9名）

(4) 出版活動

- 1) 北海道地区自然災害資料センター報告 第3巻（昭63.6）
- 2) 北海道地区自然災害資料センター報告 第4巻（本年度末：本号）

(5) 地区総会：1989年2月10日，北大低温研講義室にて地区部会と合同で開催

- 1) 年次報告（次期センター長選任問題を含む）
- 2) 資料センター活動に関するアンケート（中間）報告
- 3) 特別講演の実施
 - 八 鉄 功（北大工学部教授）：密度流から見た自然災害
 - 東 三郎（北大農学部教授）：森林の空間的見方
 - 鈴木義男（北大低温研教授）：アイスドリルの研究
- 4) 懇親会

（太田 裕）